様式３(2020.08改)

作成日　令和2年10月29日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375200652
事業所名	グループホーム遊楽苑師勝

【重点項目への取組状況】

	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
重点項目①	コロナ禍の中、4月に管理者の交代があり、新管理者の意気込みとは裏腹に地域交流の取組みが中断している。ボランティアの受入れも軒並み中止であるが、2～5月の間自粛していた訪問理・美容は6月から受け入れている。 協力医の往診は継続して受け入れていたが、訪問歯科や訪問マッサージも9月より受け入れを再開した。	○
	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
重点項目②	市の方針に従い、3月、5月、7月の運営推進会議は書面開催とした。 9月にメンバーを集めて通常通りに開催したが、長時間の密な状態を避けるために短時間開催とした。 会議には、家族代表、市・高齢福祉課職員、地域包括ケア推進室担当者、自治会長、民生委員等の参加があった。	○
	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
重点項目③	市の担当課(高齢福祉課)との連携は良く、いつでも相談でき、意見や助言を得ることが可能である。 運営推進会議の開催方法や市が配給する消毒用アルコールの受取り方法の助言をもらう等、新管理者にとって頼りがいのある存在である。	○
	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
重点項目④	コロナ禍により家族の面会を制限しているが、リモート面会の折に家族の意見や要望を聞き取っている。リモート面会は家族からの発信が多い。 家族からの強い「看取り希望」があり、コロナ禍の渦中ではあるが看取りを行った。 利用者の写真を載せた大判の「遊楽荘通信」が、毎月発行されている。	○
	その他軽減措置要件	評価
重点項目⑤	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

3月、5月、7月は書面開催としたが、9月には通常の運営推進会議を開催した。
ただし、長時間の密な状態を避けるために短時間開催とした。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎										